

みたか体協だより



〒181-0004 東京都三鷹市新川 6-37-1 SUBARU 総合スポーツセンター内
TEL.FAX0422(43)2500
<http://www.mitaka-taikyo.com/>
e-mail:qqrt38y9@fancy.ocn.ne.jp

21号

発効日(年2回発行)
2018年8月20日

発行 三鷹市体育協会
会長 吉田 武
編集 広報部



第71回都民体育大会及び 第19回東京都障害者スポーツ大会合同開会式

今年の第71回都民体育大会及び第19回東京都障害者スポーツ大会が、新緑の武蔵野の森総合スポーツプラザで開催されました。三鷹市体育協会も男女合わせて26競技286名が参加いたしました。開会式に参加した皆様との集合写真です。



都民大会開会式入場行進

三鷹市ダンススポーツ連盟 設立30周年を記念して

三鷹市ダンススポーツ連盟 羽根田 孝子

私がダンスを踊るようになったのは、昭和54年に三鷹市に移転してからです。地元の水曜会に入会し、ダンスを踊っていました。

このようなダンスサークルが集まり、昭和63年3月に三鷹市アマチュアダンス協会が設立されました。同年4月に東京都アマチュアダンス協会に加盟いたしました。

そして、平成元年4月に三鷹市体育協会に三鷹市ダンススポーツ連盟として29番目の団体として正式加盟いたしました。

平成10年4月に設立10周年記念を加盟する11サークルとお祝いの式典、ダンスの集いを開催いたしました。

平成20年には、設立20周年のダンスパーティーを華やかに開催いたしました。

そして、平成30年5月20日(日)、昨年完成したSUBARU総合スポーツセンターを会場として、「設立30周年記念の集い」を開催いたしました。

広いサブアリーナに市長さんを始め来賓の方々、多勢の参加者を迎える事が出来ました。サークルの発表会、素晴らしいプロのデモンストレーション等でパーティータイムも充実し、とどろりなく終了いたしました。

思い出に残る盛大な記念の集いになりました。



会委員の華麗なステップ



清原市長から感謝状

第93回 市民歩行力測定会について

5月27日(日)に第93回市民歩行力測定会を行いました。

今回は、初めて、会場を井の頭公園から三鷹中央防災公園内通路及び周辺歩道に移し、開催しました。参加者は、井の頭公園と比較すると少ないものの85名の方が参加しました。初夏のような好天の中の爽やかな風もあり、良い季節となりました。公園で遊んでいたファミリーの参加も多く、多くの市民の方に歩くことの楽しさを感じていただく、きっかけとなりました。



「日本無線 中央広場」に命名

三鷹市では、「三鷹中央防災公園の中央広場」と「三鷹市総合スポーツセンター」の2施設のネーミングライツ・パートナーを平成28年9月に募集しました。

先に平成28年11月8日、「三鷹市総合スポーツセンター」が「SUBARU総合スポーツセンター」の愛称名となり、施設をオープンし、公園内植栽の成長を待つ、平成29年12月7日に「三鷹中央防災公園の中央広場」が「日本無線 中央広場」の愛称名となりました。

日本無線中央広場は、開放的な芝生広場に健康器具やベンチが設置され、市民の皆さんの憩いの場となっております。

今春の市民歩行力測定会は、広場を中心とした外周を利用し開催し、快晴の中、多くの市民の方の参加で盛り上がりました。



日本無線中央広場

三鷹市スキー連盟

初級者の方から
エキスパートの方まで
楽しめるクラブです。

三鷹市スキー連盟は三鷹市体育協会、東京都スキー連盟に所属する来年創立60周年を迎える歴史あるクラブです。会員総数は約80名(うち指導員・準指導員資格保有者が約40名)で、三鷹市およびその近郊に在住・在勤の方々が多くですが、千葉、神奈川、埼玉などの近県の方々も在籍しています。主な活動は12月から3月の各月ごとに開催するスキーツアー、各種競技会や技術選への参加等です。スキーツアーは主に丸沼高原スキー場と菅平高原スキー場で開催され、初級者からエキスパートまでを対象に有資格者によるスキー指導を行っています。

またバジテストをシーズン中3回開催し、ツアーのイベントとして毎回盛り上がりを見せています。

ホームページ (<https://www.mitaka-ski.com/>) を開設しており、ツアー要綱や活動内容を発信しています。基礎スキーだけでなく競技スキーも積極的にを行っています。また生涯スポーツ優良団体として東京都体育協会より今年度当クラブが表彰されました。

初級者の方からエキスパートの方まで、スキーに興味のある方はお気軽にご連絡ください。

車いすバスケットボールの
事前キャンプが開催されました

三鷹市のSUBARU総合スポーツセンターでは、6月4日から6日の日程で、車いすバスケットボールのカナダ代表チームが事前キャンプを行いました。この事前キャンプは、6月8日から武蔵野の森総合スポーツプラザで開催される「車いすバスケットボール男子日本代表国際強化試合 三菱電機 WORLD CHALLENGE CUP 2018」の準備をするためのもので、本大会では、カナダのほか、ドイツ、オーストラリア、日本の4ヶ国が対戦します。

キャンプ期間中の6月6日にカナダ代表と日本代表の公開練習試合が行われ、迫力のある試合に皆さん見入っていました。



全国大会準優勝

三鷹蹴球団 EAGLES
(三鷹市サッカー協会所属)

三鷹蹴球団EAGLESは、JFA第17回全日本U-50サッカー大会において、全国準優勝を果たしました。

厳しい東京都予選そして関東予選をみごと勝ち抜き、全国大会への出場権を勝ち取りました。

全国大会では予選リーグの接戦をものにし、リーグ1位で準決勝に進出、準決勝では兵庫サッカークラブを1-0でやぶり、中津OBサッカークラブ(大分県)との決勝戦にコマを進めました。

決勝も大接戦となり、1-1のままPK戦までもつれ込みましたが惜しくも2-4で敗れました。

しかし、長い期間を戦ったこの快挙は体協所属団体の皆さんへの大いなる励みと刺激になりました。

おめでとうございます。



表彰者・表彰団体の皆様

- (1) 東京都功労者表彰(スポーツ振興功労) 平成 29 年 10 月 2 日
スポーツ功労団体：三鷹市野球連盟
- (2) 東京都スポーツ功労表彰 平成 29 年 10 月 13 日
スポーツ功労団体：三鷹市山岳連合会
スポーツ功労者：松野 國夫(三鷹市体育協会副会長)
- (3) 東京都体育協会「生涯スポーツ優良団体」・「功労者」の表彰
平成 30 年 5 月 6 日
生涯スポーツ優良団体：三鷹市スキー連盟
生涯スポーツ功労者：鍵山 清美(三鷹市卓球連盟)
- (4) 東京都市町村体育協会連合会功労者表彰 平成 30 年 7 月 21 日
功労表彰：児玉 清彦(三鷹市バドミントン協会前会長)
- (5) 平成 29 年度三鷹市体育協会体育功労者表彰 平成 30 年 4 月 19 日
寺田 俊宏(三鷹市アーチェリー協会)
鈴木 賢志(三鷹市ソフトテニス連盟)
角田 恵(三鷹市弓道連盟)
石井 明(三鷹市卓球連盟)
山本 多可子(三鷹市剣道連盟)
井口 行雄(三鷹市野球連盟)
塩澤 しのぶ(三鷹市テニス協会)
沖山 透(三鷹市サッカー協会)
楠 修次(三鷹市トライアスロン連合)
生駒 良治(三鷹市ゴルフ連盟)
野崎 義昭(三鷹市ソフトボール連盟)



松野 國夫さん

おめでとうございます



鍵山 清美さん



児玉 清彦さん



平成 29 年度三鷹市体育協会体育功労者表彰の皆様



お知らせ



新職員
牧口美紀さん

本年度4月より事務局の一員になりました。皆様にはご迷惑をおかけしてはおりませんが、日々の活動に励んでまいります。ご声援をよろしくお願いいたします。

編集後記

前号までこの体協だよりの発行に主体となって携わっていただきました広報部副部長の児玉清彦さんが、体調不良で退任されました。紙面を通して皆様にご報告いたします。
今後は、広報部員が一丸となり、編集・発行に努めてまいります。
ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

広報部部長 中野石太郎

「弓道は身体(からだ)を強くする」

リレーエッセイ
加盟団体会長シリーズ

交流



第⑧回
弓道連盟
会長 八重樫春美

あらゆる健康法

リタイアしてから、これといった健康法をしてきていませんが、これまでの市の健康診査では、一度も悪いと指摘を受けなかったことがあります。
週に3〜4日している弓道の稽古(1日10射程度)が、その理由かなと考えています。

弓道は単に弓を射ている中でのというのではなく、真(正しい)射法による的(的)・善(お互いに親しみ、礼節を重んじる)・美(完成された美しい形)を最高目標としています。

弓道の「立つ」「歩く」「座る」の

姿勢や動作が現代では失われている作法で、これが足腰を鍛える鍛錬法であったのです。
「立つ」頭から肩、腰、足の土踏まずの前まで体の中心を一本の線が通っているように。
「歩く」重心を体の中央においたまま、すり足で。
「座る」跪座(つま先を立てて両膝をつく姿勢)から正座に、「立つ」ときはこの逆を行う。
動作に呼吸を合わせることでなく、呼吸に動作を合わせることで見た目にも美しく映えることとなり、疲れにくくなります。

弓道の所作(体配と言ってます)は、急な動作ではありません。ゆっくりと呼吸に合わせて「立つ」「歩く」「座る」「弓を引く」の動作を行うことで、心と技を一体化させてゆきます。こうした動作が私の体を強くしている(老化を防いでいる)と思っています。

弓道は高齢になっても続けられます。

お手本は、以前(平成26年2月号の体協だより)で紹介した連盟の矢口茂子さんです。93才で元気に弓を引かれていました。
(今回は合気道連盟会長)